

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.04.07-04.18

*記事は東京発行・最終版

CHINA

4月7日(月)

NTTデータ、中国研究拠点
政府系機関と共同

NTTデータは、中国科学院ソフトウエア研究所と共同研究センターを同研究所内に設立した。研究期間は5年間。当初はソーシャルサービスとヘルスケアの2分野でプロジェクト。(11面)

キューピー、中国で半熟卵製品
コンビニ向け・弁当・総菜用

キューピーは、中国で半熟卵製品の販売を始める。半熟卵は付加価値が高い。上海市近郊のコンビニエンストアなどに弁当や総菜用の高付加価値食材として供給する。(14面)

ヤクルト、広州第2工場稼働
日産200万本

ヤクルト本社は、広州の第2工場で乳酸菌飲料「ヤクルト」の生産を始めた。初期は1日当たり40万本。年内に同120万本、最終的には同200万本に。第1工場の生産能力は同177万本。(14面)

4月8日(火)

東アジア途上国7.1%成長
中国の伸び鈍る/先進国回復下支え
世界銀行が、東アジア・太平洋地域の途上国の経済見通し。2014年の成長率は

伊藤忠商事はハノイ近郊のナムディン省に設立した紡績工場と、近接する生地工場を増強する(ナムディン省の紡績工場=7日付)



7.1%と、前年の7.2%から若干減速すると予想した。中国经济の伸びが鈍る。先進国の回復が下支え。(時事=2面)

4月9日(水)

車部品、中国との取引拡大
高品質な部品調達

日系自動車部品メーカーが、中国の車メーカーとの取引を拡大している。東海ゴム工業は天津市の樹脂部品工場に中国メーカー向け専用工場棟を建設。高品質な部品を調達する動きが加速。(1面)

建機販売・失速

地方のインフラ工事が鈍化
建設機械メーカーの中国販売が勢いを

失っている。3月の油圧ショベル販売でコマツは前年同月実績を下回り、日立建機も当初計画に比べ伸び悩んだ。地方のインフラ工事が鈍化。(6面)



中国減速で反転攻勢へ知恵を絞る

の「ソラリア」ブランドで展開、日本人の女性観光客に照準。(13面)

ダッカに袋物類縫製工場
茅/月5万個

茅は、バングラデシュ・ダッカ市の袋物類縫製工場を稼働した。地元企業との合弁。地元メーカーから受注したトートバッグを月5万個生産する。日本市場向けも。

4月9日(水)

川重、インドネシア第2工場
2輪車/年産15万台

川崎重工業は、インドネシアで2輪車生産の第2工場を稼働した。年産能力15万台。同国の年産能力は25万台に。スポーツモデルの新製品「ニンジャ250SL」と「KLX150」を生産。(5面)

TIS、インドネシア社と提携
日本企業向け/E RP導入

TISは、インドネシアのIT企業・PTソルティスと独SAP関連ビジネスで業務提携した。進出する日本企業向けにSAPのERPの導入支援サービス。(10面)

伊藤忠、ベトナム紡績工場倍増
月産600トン

伊藤忠商事は、ベトナムの紡績工場の生産能力を2015年に倍増の月産400~600トンに増強する。生地工場についても、稼働時の織布月产能力50万枚を倍増となる月100万枚に引き上げる。(14面)

4月8日(火)

第一三共、インド子会社売却
サン・ファーマに/後発薬

第一三共は、インドの後発医薬品大手サン・ファーマ・シューティカル・インダストリーズが、第一三共の連結子会社ランパクシ・ラボラトリーズを吸収合併することで合意した。(3面)

ナブテスコ、ボルボから受注
インドに新ライン/部品6000台分

ナブテスコは、スウェーデン・ボルボのインド法人から商用車用部品を受注した。インドの合弁会社に生産ラインを新設。6月から納入をはじめ、初年度6000台分を見込む。(5面)

日清紡テキ、シャツ生地増産
インドネシア/欧州向け

日清紡テキスタイルは、インドネシアのシャツ生地の加工拠点の生産能力を2015年1月までに15%増の月産230万枚に引き上げる。欧州のアパレルにノーアイコンシャツの生地を供給。(11面)

日本板硝子、ベトナム新ライン
超薄板ガラス用フロート/倍増

日本板硝子は、ベトナムで超薄板ガラス用フロートラインを新設する。生産能力は倍増する。タッチパネル用基板ガラスなどのニーズが拡大。投資額は約130億円。(11面)

日通が重機建設専業会社
ベトナム/機器据え付け

日本通運は、ベトナムに重機建設専業会社を設立し、営業を始めた。重機建設に特化した専門的なニーズに対応するほか、設備や機器の据え付け、プラントの重量物の据え付けなど。(12面)

ソウルにソラリア西鉄ホテル
高級路線/日本人の女性観光客

西日本鉄道はホテル事業で海外初進出となる「ソラリア西鉄ホテルソウル(仮称)」をソウル市にオープンする。高級路線

LNG受け入れ量を、2015年度以降に現在の年39万tから同45万tに増やす。「ひびきLNG基地」稼働による規模拡大に伴うもの。(12面)

ペトナム経由で大量輸送
日通/カンボジア-日本

日本通運は、カンボジアのブノンベンペトナムのホーチミン間をトラックで陸送し、ホーチミンからは海上か航空で日本へ輸送する複合輸送サービスを始めた。東京港や成田、羽田向け。(12面)

4月11日(金)

ホンダ、タイ工場の稼働延期
4輪車/促進策が終了

ホンダは、タイで建設中の4輪車工場について稼働を半年から1年延期する。ロジーナ工業団地内で2015年稼働予定だったが、タイ政府の自動車購入促進策が終了し需要が低迷。

アサヒ、乳製品事業を買収
マレーシア/240億円

アサヒグループHDは、シンガポールのエクチカインター・ナショナルホールディングスからマレーシアの乳製品事業を買収する。買収額は約240億円。東南アジアは拡大が見込める。

京セラ、タイにスマートOEM
現地最大手/聞き取りやすく

京セラは、携帯電話端末のOEM供給をタイで始める。現地最大手スマートトイ・モバイルに、声が聞き取りやすい独自機能などを組み込んだスマートフォンを提供。

イオンモール、ベトナム店着工
日本にはない店舗・サービス

イオンモールは、ベトナムハノイ市1号店となるショッピングモールを着工。室内遊園地、タレント養成スクールなど日本国内のモールにはない店舗・サービスを提供。

アネスト岩田、ミャンマー拠点
塗装機器/販売・技術支援

アネスト岩田は、ミャンマーのヤンゴン市に販売支援と技術サポートの拠点を設立した。日系製造業や現地の自動車部品工場などを対象に、塗装機器の販売支援と技術サポートを行う。(6面)

タイ・プラスワン
ASEAN大動脈「南部経済回廊」

タイ・カンボジア・ベトナムを陸路で結ぶ「南部経済回廊」は、ASEANの大動脈。物流網の構築でタイ工場の生産を補完。「タイ・プラスワン」のサプライチェーンを構築。(深層断面=28面)

日本メディコ、中低層エレベーター
三菱電機/電力20%減

三菱電機は、インドの中低層建物向けエレベーター「ネクシーズ・ライ」を発売する。減速機を使わないギアレス巻き上げ機を採用。動力の損失を抑制し、消費電力を20%減らした。(9面)

三菱マテ、ラオスで生産
エアコン用温度センサー/月700万個

三菱マテリアルは、ラオスにエアコン用温度センサーの製造子会社「MMCエレクトロニクス・ラオス」を設立する。中国などに出荷する。2016年までに月産700万個体制。(11面)

マレーシアLNG年45万tに
西部ガス/新基地稼働

日本ゼオンは、シンガポールのジュロン島にある全額出資子会社のゼオンケミカルズシンガポールの低燃費タイヤ用ゴムプラントが商業生産を始めた。年産能力は3万~4万t。(13面)

4月10日(木)

フォード、初の月間10万台
新車販売/3月28%増

米フォード・モーターは、中国での3月の新車販売台数が前年同月比28%増の10万3815台となった。月間販売で10万台を超えたのは初めて。SUV「クーガ」(時事=5面)

4月11日(金)

中国の建機販売が鈍化
日立建機/地方インフラ工事低迷

日立建機は、春節明けのヤマ場・3月の販売で前年同月を下回った。地方のインフラ工事の低迷で油圧ショベル(6トン以上)販売が同14%減と鈍化。マイナスは2013年3月以来、12カ月ぶり。(7面)

スズキ、船外機販売を直轄に
商社経由から切り替える

スズキは、中国で船外機販売を強化するため、新たに現地子会社のスズキ中国(北京市)を販売代理店に設定した。商社経由で現地販売店と取引していたが、直轄に切り替える。(7面)

4月15日(火)

3月の新車販売6.6%増
最高更新も伸び1ケタ台に

中国の3月の新車販売は6.6%増の216万9100台となった。過去最高を更新したが、伸びは2013年の前年比13.9%増を大きく下回る1ケタ台にとどまった。中国自動車工業協会まとめ。(時事=6面)

住商、上海で高機能樹脂原料
直轄に切り替える

スズキは、「市場の需要の変化に応えてきた」。(時事=5面)

住友林業、香港で不動産開発
現地大手と連携

住友林業は、香港でマンションなどの不動産開発事業を始める。現地不動産大手・香港興業国際集団と連携しRAHLの全株式を取得した。需要が堅調な香港の住宅市場を開拓する。(14面)

4月16日(水)

中国7.4%成長に鈍化
景気刺激策で悪化回避

中国の2014年1~3月期のGDPは、実質ベースで前年同期比7.4%増と、伸び率は2四半期連続で鈍化した。政府年間目標の7.5%も下回った。景気刺激策を打ち出した。(時事=2面)

GM、2014年新車100万台突破
8年連続/最も早い時期の達成

米GMは、中国での2014年の新車販売が100万台を突破。年ペースで8年連続。最も早い時期での達成。2013年の販売は316万台だった。社長は「市場の需要の変化に応えてきた」。(時事=5面)

富士ソフト、中国に現法
オフショア開発/組み込みソフト

富士ソフトは、中国で事業を拡大するため現地法人「富士軟件科技(山東)」を設立する。オフショア開発や、中国に進出する日本企業と現地企業に組み込みソフトを開発・販売。(9面)

日立化成、車用樹脂成形品生産
河南省鄭州市/日産向け

日立化成は、河南省鄭州市に設立した自動車用樹脂成形品の生産拠点、日立化成工業(鄭州)汽車部品が稼働した。また、日産自動車の新型「エクストレイル」向けパックドアを製造。(11面)

次回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は5月12日(月)に掲載します。造を始める。自動車部品や電気部品向け
高機能樹脂原料の工場を上海市南西部の
石油化学工業区内に建設。(12面)

4月17日(木)

現代自、次世代車開発センター
エコカー・基幹部品技術など

韓国・現代自動車グループは、山東省煙台市で次世代自動車技術研究開発センターの建設を進めている。次世代エコカーの基幹部品技術の実用化や新車の設計から試作、評価まで一貫。(5面)

4月18日(金)

帝人、南通市に商品開発拠点
原糸・テキスタイル

帝人は、江蘇省南通市に原糸やテキスタイルの商品開発拠点「帝人(中国)商品開発センター」を開設。機能性衣料用製品やケミカルリサイクルポリエステル繊維を使った衣料用製品を開発。(3面)

日立化成、車用樹脂成形品生産
河南省鄭州市/日産向け

日立化成は、河南省鄭州市に設立した自動車用樹脂成形品の生産拠点、日立化成工業(鄭州)汽車部品が稼働した。また、日産自動車の新型「エクストレイル」向けパックドアを製造。(11面)

4力国を直接結ぶ海上小口混載輸送サービスを始める。トルコ、ベトナム、インドネシア、フィリピン向け。積み替えが不要で輸送を2~3日短縮。(13面)

最高品質の和牛、東南アリエスフーズ/シンガポールに拠点

エスフーズは、食肉の輸出事業を本格化するため、年内をめどにシンガポールに海外販売拠点を設置する。最高品質の和牛を中心、日本の高い品質を求める東南アジア市場を開拓する。(13面)

TELOP

インド総選挙スタート
10年ぶり政権交代焦点(時事=8日2面)日本トムソンがタイ販社
開所式(8日6面)日伝、ベトナムに合弁
動力伝導機器・エンジ(8日6面)シンガポールに現法
NTTファイナンス(9日3面)サムスン電子、スマートドリーミング
営業利益4.3%減(時事=9日3面)インドネシア車関連輸出90億ドル
2017年目標(9日5面)外国人専用「ななつ星」走る
台湾・香港・蘭など14組28人(9日16面)IHI、タイでEPC受注
韓国ボスコエンジンと共同(11日8面)